

平成16年6月9日

環境の保全のための意欲の増進及び環境教育の推進に関する基本方針の作成に向けた懇談会（第3回）資料

横浜市教育委員会小中学校教育課 和泉良司

学校における環境教育の指導について

1 環境教育のとらえ方

環境教育は各教科・道徳・特別活動・総合的な学習の時間などで指導可能である。また各教科には独自の目標があるが、この目標達成と環境教育の目標達成は両立可能であり、教科などの指導目標に沿うものである。

さらに、環境教育を進めることにより通常の教科での学習内容を豊かにすることができる。

2 環境教育の内容例

学習内容に対応したいくつかの内容を「環境教育の内容例」として整理した。これにより、どのような内容を学習に取り入れ、学習指導として位置づけるかが明確になる。環境教育の内容は「環境教育テーマ」、「環境教育のトピック」などとも呼ばれる。

環境教育の内容例

(1) 生活環境

水の問題

ア、河川、湖沼、海洋の汚染

イ、水の確保と水源の保護

ウ、水の循環と人の活動

大気

ア、大気の汚染

イ、酸性雨

ウ、温暖化

土壌

ア、土壌汚染

イ、土地の浸食や表土の流出

騒音・異臭

(2) 資源・エネルギー

天然資源

ア、天然資源の枯渇

イ、天然資源の利用と管理

ウ、森林破壊

エネルギー

ア、化石燃料の枯渇

イ、エネルギーの節約

ウ、エネルギーの利用と汚染

(3) 人と自然

ア、野生生物とのふれあい

イ、自然保護

ウ、生態系の破壊と保全

(4) 人と社会

ア、地域づくり

イ、都市化・過疎化

ウ、ごみ、産業廃棄物

エ、リサイクル

(1995 和泉)

(2) 環境教育のとらえ方と各学校の教育課程

各学校には教科等の教育課程があり、環境教育の内容との関係を整理することにより学習指導の内容が明確になる。

各教科等の内容を縦糸と考え、**環境教育の内容**を横糸と考えると、その交差したところに環境教育の学習指導が成立する。交差するすべての部分で学習が計画されるわけではなく、網を掛けた部分のように、教科等の内容に応じて選択される。この考え方を図示すると下のようになる。

	国語	社会	算数	理科	生活	道徳・特活	総合的な学習
環境教育の内容例	水の問題	■	■	■			■
	大気汚染	■	■	■			■
	ごみ問題	■	■	■		■	■
	リサイクル	■	■	■	■	■	■
	自然保護	■			■	■	■

図 環境教育の内容と各教科等の関係 (1997 和泉)

環境教育は教育のすべての場で行うことができるので、様々な場面で積極的に取り入れていくようにする。

国語では地域の水辺について意見文を書いたり、野生生物との触れ合いを詩作に活かしてもよいだろう。算数では地域で分別したごみの量をグラフにすると実感をともなったデータで学習できる。

このように授業の中に「環境教育の内容」を取り上げることにより、教科等の学習を豊かにすることができる。あわせて、環境についてのより深い知識や能力及び、環境を改善しようとする態度を育てることができる。

環境教育は幅広い分野を含んでいるので、学年を通して釣合いの取れた学習活動を計画する。